

XCM2080SAT4 / XCM4040SAT4V1

接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC07CLMF

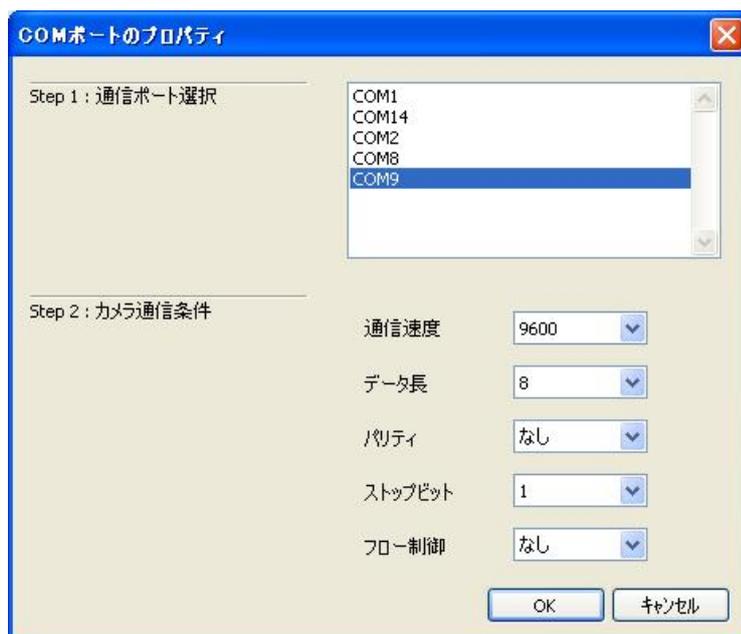
サポートする機能

取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル (通常) 入力	フリーラン露光モード	露光時間はカメラコントロールソフトウェアが通信にて設定
トリガ入力	外部トリガ (トリガレベル) 露光モード	露光時間は外部トリガのHighの時間にて設定

各モード共通の設定

カメラメーカーの提供するカメラコントロールソフトウェアを使用するか、弊社ライブラリ製品に用意された通信用 API 等を使用して設定を行う必要があります。本説明とカメラメーカーが提供する取扱説明書に記載された通信仕様を参考に設定を行ってください。通信用 API の詳細についてはライブラリ製品の説明書・ヘルプ等を参照してください。

以下、メーカー提供のカメラコントロールソフトウェアを使用した場合の設定、及び、通信コマンドを示します。COM ポート番号はボードの設定に合わせて下さい。



・カメラコントロールソフトウェア

CLISBeeCtrl02 (32bit)

Model XCM2080SAT4 Ver. 1.06_0x8014 Serial No. 52155

COM9

ゲイン

Analog 1 x 2(6dB) Analog 2 <- Analog 1

Digital 0 送信

オフセット

Digital 0 送信

アナログゲイン設定
→任意に設定

デジタルゲイン設定
→任意に設定

カメラ内メモリ

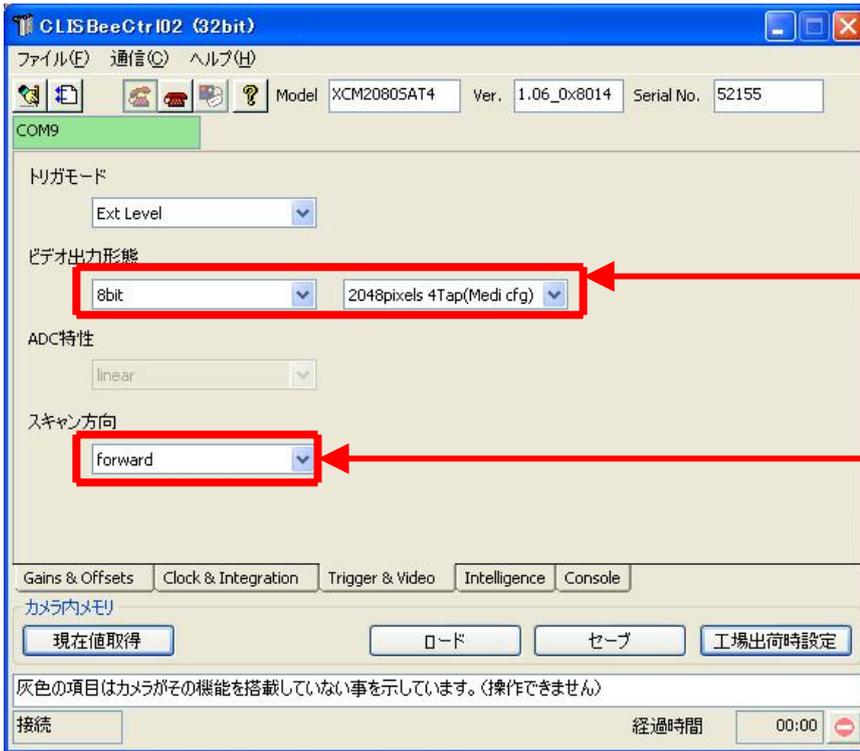
現在値取得 ロード セーブ 工場出荷時設定

灰色の項目はカメラがその機能を搭載していない事を示しています。(操作できません)

接続 経過時間 00:00

・通信

コマンド	設定項目	設定
gax	アナログゲイン	任意に設定 XCM2080SAT4 : 「0~6」 XCM4040SAT4V1 : 「0~20」
gdx	デジタルゲイン	任意に設定 XCM2080SAT4 : 「0~511」 XCM4040SAT4V1 : 「0~511」



ビデオ出力形態設定
 →XCM2080SAT4
 「8bit、2048pixels 4Tap」
 XCM4040SAT4V1
 「8bit、4096pixels」
 に設定
 スキャン方向
 →任意に設定
 「0:正方向、1:反転」

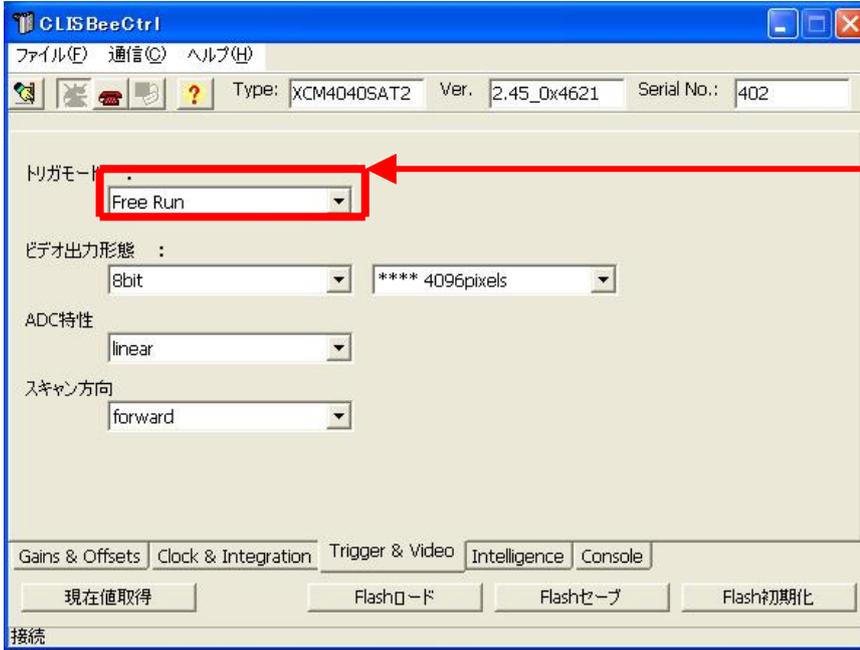
・通信

コマンド	設定項目	設定
voa	出力信号設定 1	XCM2080SAT4 : VAL1= 「0:8bit」 VAL2= 「0:2048pixels 4Tap」 XCM4040SAT4V1 : VAL1= 「0:8bit」 VAL2= 「0:固定」
rev	スキャン方向設定	「0:正方向、1:反転」

取り込みモードに依存する設定

ノーマル入力の場合

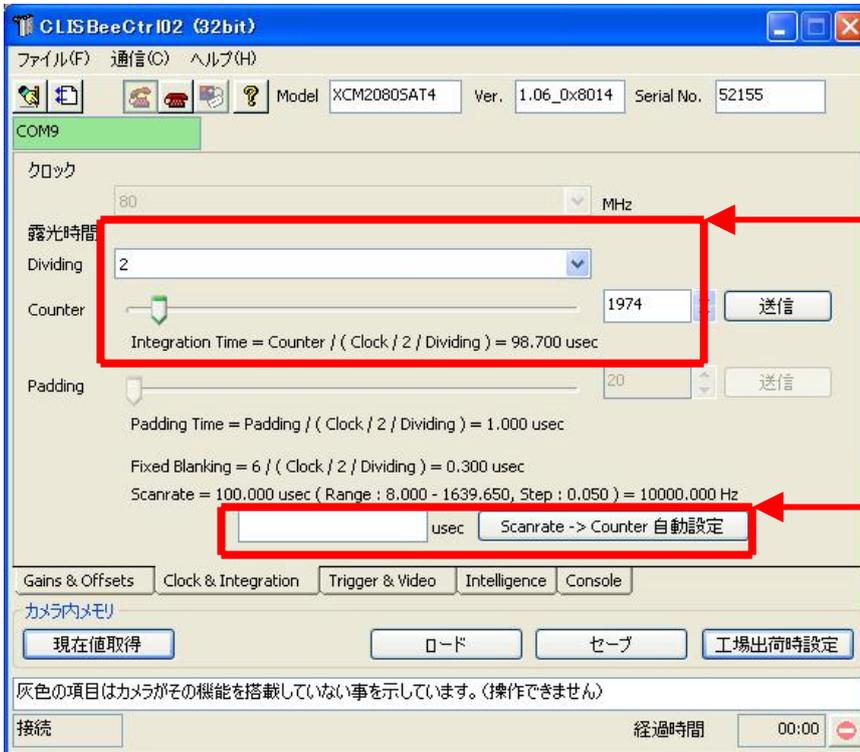
- ・カメラコントロールソフトウェア



露光モード設定
→「Free Run」に設定

- ・通信

コマンド	設定項目	設定
inm	露光モード	「0:Free Run」



プログラマブル露光時間設定
→任意に設定

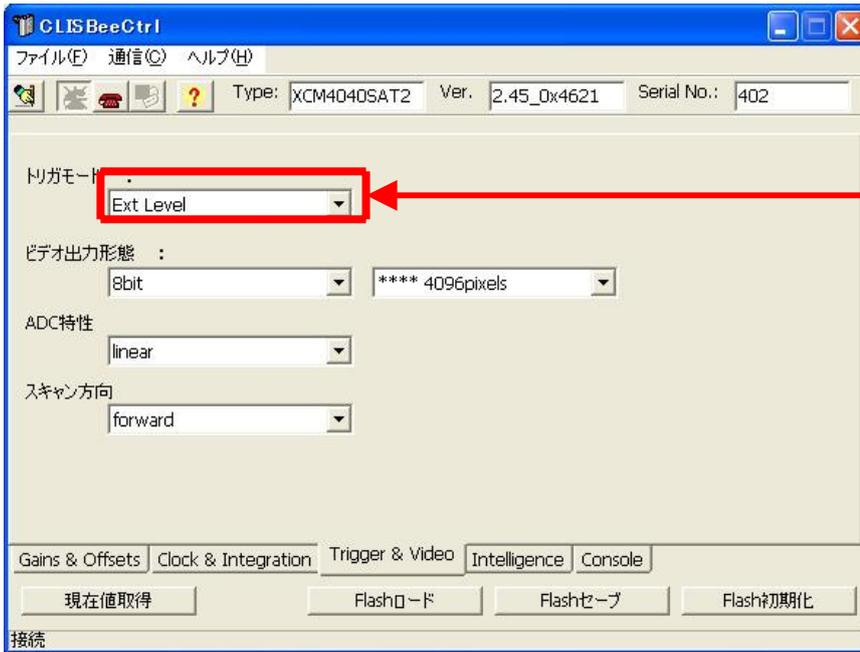
スキャンレートからプログラマブル露光時間を設定する場合は、自動設定ボタンを使用する

・通信

コマンド	設定項目	設定
int	プログラマブル露光時間	任意に設定 XCM2080SAT4 : VAL1=「2、4」 VAL2=「134~32767」 XCM4040SAT4V1 : VAL1=「0~11」 VAL2=「61~1023」

トリガ入力の場合

・カメラコントロールソフトウェア



露光モード設定
→「Ext Level」に設定

・通信

コマンド	設定項目	設定
inm	露光モード	「2:Ext Level」に設定

留意事項

- 設定指示のない項目は、デフォルトで御使用頂けます。

詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、日本エレクトロセンサリデバイス株式会社（NED）より提供される取扱説明書、「取扱説明書 ラインスキャンカメラ 型式:XCM2080SAT4/XCM2040SAT4」および、「取扱説明書 ラインスキャンカメラ 型式:XCM4040SAT4V1」を参照してください。